

2008年東京都ベンチャ - 技術大賞応募用紙

欄は記入不要です。

受付番号

会社名	フリガナ トウキョウトベンチャーカブシキガイシャ 東京都ベンチャー株式会社
所在地	〒 163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁ビル30階
代表者名	フリガナ トウキョウ タロウ 氏名 東京 太郎 印
担当者名	フリガナ ミヤコダ ジロウ 氏名 都田 次郎
役職名	代表取締役社長
部所名	総務部総務課
電話	03-5321-111x E-mail jiro_miyakoda@s.metro.tokyo.jp
FAX	03-5321-11xx URL http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/
業種	製造業 卸売業 小売業 サ-ビス業 その他()
従業員数	10人 資本金 30,000 千円
創業期日	平成 10 年 9 月
応募製品・技術の名称	製造装置「 」
応募製品・技術開発のテーマを30字以内で記入して下さい	の 量 産 を 可 能 か つ 環 境 リ ス ク を 低 減 し た 小 小 型 装 置
応募製品の販売開始年月日	平成 18 年 12 月 24 日
年間生産量・販売量 (販売1年以内は見込)	3000台 前年実績 見込
販売価格	50,000 円
開発期間	平成 18 年 1 月 ~ 平成 19 年 11 月
開発経費	35,000,000 円
今回の応募は何で知りましたか? (複数回答可)	広報東京都 産業労働局HP 東京都中小企業振興公社HP 新聞記事 情報雑誌 ポスター・チラシ ダイレクトメール(DM) その他()

代表者印をお忘れなく!

平成20年7月1日までに販売されているものが対象です。

1. 応募製品を生産・販売するにあたって必要な法規があれば記入して下さい。

【法規名】

2. 過去に当該製品・技術について**東京都**の助成金等を利用したことがあれば、名称を記入して下さい。

創業助成

共同開発助成事業（融合化・産学公）

市場開拓支援助成事業

成長企業発掘支援事業

外国特許出願費用助成

外国侵害調査費用助成

中小企業事業革新支援補助

（旧中小企業経営革新支援補助及び旧創造的技術開発助成）

新製品・新技術開発助成

I S O取得支援助成

基盤的技術産業活性化支援事業

産学公スタートアップ助成

外国意匠・商標出願費用助成

開発戦略策定支援助成

【その他】

3. 応募案件に係る特許及び実用新案、意匠、商標（申請中のものを含む）がある場合にはその概要を記入して下さい。

「出願番号」 あるいは 「特許番号」 「登録番号」	出願 あるいは 登録 年月日	権利化状況 をつけて ください	【特許・実新】 発明・考案の名称 【意匠】物品名 【商標】 指定商品・指定役務 並びに商品・役務の 区分	出願人名	権利利用 自社の権利を利用、 他社の権利利用など をつけて ください	既存技術について 類似の他社製品、問題特 許、先行技術調査結果など 既存技術の情報（出願番 号や製品資料など）とその 技術との違いや対策方法を わかる範囲でご記入くださ い
特許出願 2007- 123xxx	2004年 8月 15日	権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求	の量産方法 及び製造装置	ベンチャー (株、東京都)	自社権利 (単独出願) ・ 共同出願 (持分 50%) 他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)	問題特許：「 製造方法」 (特許公開2006-246xx) 問題特許との違い：問題特 許ではxxを用いた製造方法 が用いられているが、申請技 術は を用いて な処理 を加えている。そのため、問 題特許にくらべて量産性が向 上している。また、 を用 いている為、問題特許には抵 触しないと考えている。
特許第 5432xxx号	2001年 2月 10日	権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求	制御方法及び 制御回路	ベンチャー(株)	自社権利 (単独出願) ・ 共同出願 (持分 %) 他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)	【先行技術調査】キーワード 「 」「制御方法」「装 置」(年月日調査) 【類似技術】「 の制御方 法」(特許第3210xxx号) 類似技術との違い：この技 術は制御方法として 方法 を用いているが、申請技術で はこれとは異なる を用い ている。このことは類似特許 の明細書のいずれにも記載さ れていない。
特許第 4321xxx号	2004年 2月 10日	権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求	高分子材料	A B C D株式 会社	自社権利 (単独出願) ・ 共同出願 (持分 %) 他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)	A B C D社から国内での専用実施 権を許諾。 年月日付け契約書有 り。
	年 月 日	権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求			自社権利 (単独出願) ・ 共同出願 (持分 %) 他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)	
	年 月 日	権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求			自社権利 (単独出願) ・ 共同出願 (持分 %) 他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)	

4. 過去3年間の実績を記入してください。

(単位：千円)

	平成17年度 (16年7月~ 17年6月)	平成18年度 (17年7月~ 18年6月)	平成19年度 (18年7月~ 19年6月)	平成20年度 (19年7月~ 20年3月)
会社の 売上高	12,000	20,000	18,500	3,500
経常利益	1,000	11,500	3,800	200
応募製品 売上高	0	0	0	200
従業員 人数	10	10	12	11
決算期	6月	備考		

直近2期分の損益計算書及び貸借対照表を添付してください。

「平成20年度」欄に20年3月末時点がくるようにご記入ください。

5. 応募製品の開発にあたり活用した保有設備について記入して下さい。

品名	商品名	型式・メーカー名	取得年月
クリーンベンチ	クリーン	CB-300Q・社	2000・10
研磨機	KENMA	KT-2・××社	2002・2

6. 創業・ベンチャー企業としての会社の特徴。

(将来的なビジョンや成長戦略などについて記入して下さい。)

当社は、大学の教授の技術を活用した製品開発に取り組むベンチャー企業である。主に、
当社代表は、かつて、世界市場を視野に置いた技術顧問として上記大学の研究室と連携しながら、自社工場等を持たず外部製
た、販売は商社と代理店契約を提携している。資金面はキャピタルなどから融資を受け、研究開発にあたっている。

会社の特徴、資金面、経営戦略などについて記入してください。

7. 応募製品・技術の開発の目的や背景、経緯。

(応募製品などの開発に際しての社会的背景、企業としての取り組み体制、製品化に至った経緯などについて記入して下さい。)

目的 はの製造は、の量産化の実現が、新しい製造技術の開発のために技術をベースに

背景 装置の小型化や安定した量産が不可能であった。各メーカーから、量産・安定的に供給することが強く求められていたが、環境面や価格面で実用化にあたり多くの問題点が指摘されていた。

経緯 当社は、創業当初から製造技術の開発に取り組んできた。取引メーカーからの要望を受け、これまでの製品の改良に取り組んだ。当社としても、製品の向上なしには市場の拡大が望めないため、社内一丸となり事業化を進めた。

事業実現までの状況について、戦略や提携、支援体制などを記入してください。

8. 従来（他社も含めて）の製品・技術。

(従来の製品・技術や他社の製品・技術について簡潔に記入し、従来の製品・技術レベルを記入してください。)

従来の類似製品としては、社から「」、社から「」が販売されている。両製品とも装置が大きく、設置場所が限定されてしまう。また、までしか作ることができない。

比較対象となる製品・技術について説明してください。

9. 応募製品・技術の特徴や新規性。

(開発に際して困難だった点、工夫を施した箇所や他社の製品と比較して優れている点、特徴を記入してください。)

既存の方法とは全く異なる 法による 製造方法
他社製品に比べ、約2倍の製造能力があるとともに、原料のロスを少なくし、コストを下げることができ。
他社製品に比べ、製造過程で排出される窒素酸化物が約30%と大きく低減されており、環境に配慮した製品である。
本製品の技術は、 的にみても高い技術であり、今後広く普及する可能性がある。

難解な用語などはできるだけ
使用せず、箇条書きなどで
製品等の特徴を分かり
やすく記入してください。

10. 応募製品・技術の機能・原理

(応募製品等の機能や技術的原理について、詳しく説明してください。)

従来装置の2倍の製造能力にするため、 特性のある、 素材を用いた。
を使うことにより、 の数値が増加し、製造能力が向上した。

実証データ等の根拠を示し、本
製品・技術のコアとなる機能・原
理を詳しく記入してください。

記載の情報につきましては、秘密保持を厳守するとともに、審査目的以外には、使用いたしません。

記入スペースが足りない場合は別紙を添付してください。

1.1. 応募製品・技術の市場性。

(1) 品質・用途・安全性・強度・無公害性等について記入して下さい。なお、第三者機関による応募製品の試験例などの検査結果表があれば添付して下さい。

(品質)
『』は世界期待される分野である化を実現した。この対応を可能としている

品質や詳細な技術の説明、主な市場、販売予定先、市場規模のほか、現在までに得られた研究成果などについても記入してください。

なお、品質についての性能・技術的データがある場合には、あわせて添付して下さい。

(用途)
『』は用途が今回の方式の開発によって、のみならず、やへの適用

(安全性)
別添した性能検査報告書に示すとおり

(2) 販売方法 (販路やユーザー像について記入してください。)

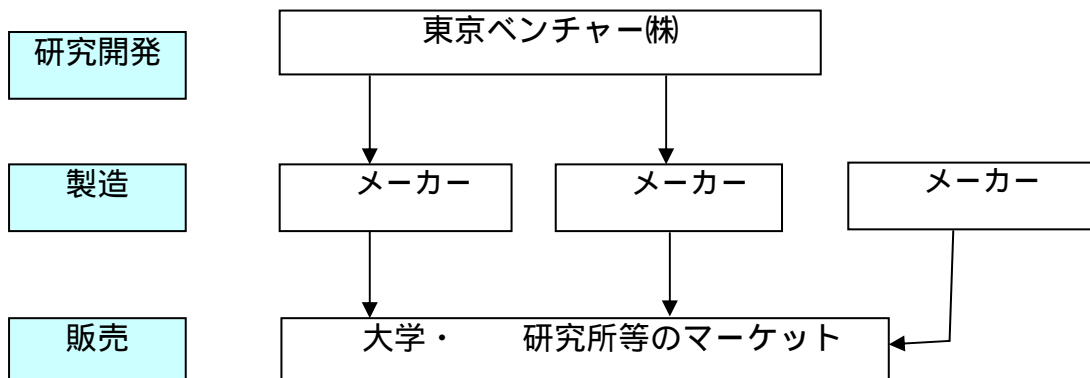
当社では、業務提携に基づき販売を以下の対象分野ごとに行っているが、において は不可欠なツールであるため、下記に該当する分野をターゲットとしている。

1. ()
- 2.
- 3.

なお、××などのマーケット販売をしている。

また、環境分野のでの連携を検討している。

必要に応じ、図等を用いて説明していただいても結構です。



記入スペースが足りない場合は別紙を添付してください。

12. 特に評価を求めたい点について記入して下さい。

(応募製品のパンフレット、写真などがあれば添付して下さい。)

写真や、図表などを用いて、わかりやすく製品・技術のPRをしてください。

また、応募製品・技術の新規性、創造性の説明に必要な資料を添付していただいても結構です。

添付する写真は、製品が明確に見えるものであれば、スナップ写真あるいはカラーコピーなどでも構いません。

(製品完成予想図、実際の製品と異なる試作品の写真はお断りします。)

13. 代表取締役の略歴について記入して下さい。

昭和	年12月	生まれ
昭和	年3月	大学××学部卒業
昭和	年4月	株式会社 入社
平成××年	8月	同 退社
平成	年1月	株式会社 設立